



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2016～17年度テーマ

プロバスだよ

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

第255号

編集・発行：情報委員会

新鮮な全員参加の輪を広め 夕焼けのまち永久に照らそう



Happy New Year

第 255 回例会

日 時：平成 29 年 1 月 12 日 (木) 16:00～20:00

場 所：八王子エルシィ

出席者：57 名 出席率 90.5 %

(会員総数 67 名 休会 4 名 欠席 6 名)

1. 開 会 宮城例会委員長

第 255 回例会を開催します。(配布資料の確認)

2. 挨拶 岩島会長

新年の挨拶に先立ち、昨年 12 月 17 日にご急逝されました小林時雄会員のご冥福をお祈りし、1 分間の黙祷を奉げたいと思います。ご起立願います。

起立。



[黙 祷]

ご着席ください。

皆さん明けましておめでとうございます。今日は東京八王子南ロータリークラブの小澤晴美会長がお忙しい中をご参加くださいました。誠にあり

ありがとうございます。2017 年、平成 29 年、今年の十二支は酉であります。酉年は「果実が極限まで熟

した状態」、すなわち「物事が頂点まで極まった状態」だそうであります。どうぞ健康管理を充分なさせて、一人一人の目指す夢、目標に向かって大きく羽ばたき、実りの多い年として下さい。

この「夢」とか「目標」という言葉に関連して、最近私が学び、心に留めていることを少々お話ししたいと思います。

それは、京都大学霊長類研究所教授の松沢哲郎氏の言葉であります。人間に最も近い動物であるチンパンジーを何十年もの長い間観察して来られた松沢氏はその事を通して「人間とは何か、チンパンジー研究から見えてきた事」と題して講演をされました。

松沢氏は次のような事を仰っています。

「チンパンジーは人間の 3 分の 1 ほどしか脳の体積はないが、それでも『そこにあるもの』を認識し記憶する能力は人間をはるかに凌ぐ。例えば、アユムというチンパンジーは一瞬しか表示されない 7 つの数字を瞬時に記憶することが出来る。数字を言い当てる正答率は、人間のそれよりも格段に高い。ではチンパンジーの 3 倍もの脳を持つ人間は、その脳を何に使っているのだろうか。チンパンジーの認知が『そこにあるもの』、つまり今、目の前で見えているものに集中しているのに対し、人間は常にそこにはないものまで認知しようとしている。例えば、チンパンジーの顔の輪郭だけを描いた絵をチンパンジーと人間に渡した時、チンパンジーはそれを顔の輪郭とは認識できないため、クレヨンを渡すとその輪郭をなぞる行為を繰り返す。しかし人間は、その輪郭の中に元々見えていなかった目や鼻、口といったものを当り前のように画くことが出来る。つまり、チンパンジーの認知スタイルが、目の前に見えているものが全てと捉え、それを細かい点に至るまで観察し記憶することに注がれているのに対して、人間は目の前にあるものの意味や背景と言った『そこにな

いもの』にまで注がれている点が、両者の大きな相違点ではないか。

あるチンパンジーが病気で寝たきり状態になった時、本来は動けなくなった自分の将来を絶望し、元気がなくなるかと思っていたところ、いたって陽気に振る舞い続けていた。これはチンパンジーが自分の将来を悲観するという『そこにはないもの』まで思いを巡らすことがないからではないか。こんな時、人間はあれこれ思い悩み、後悔もするし絶望もする。しかし、これは人間がもう一つそこにはないものである『希望』を持つ能力を持っていることも意味するのではないか。人間は想像するからこそ絶望もし、だからこそ希望を持つことも出来る。この想像する力こそ人間だけに備わったものである。」この「希望」「夢」を常に持つことが、サムエル・ウルマンが言う「青春とは人生の或期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。」という「青春」であります。

こういう訳で、今年も「想像力」を働かせ、一人一人それぞれが描く「希望」「夢」を膨らませて、鳥のように大きく羽ばたく1年といたしましょう。

今年は八王子市政100周年の年であります。緑豊かな自然と素晴らしい歴史と伝統のある八王子市に住む者として、この1年を寿ぎ、いろいろのイベントにも参画したく思います。最後に、今日は元会員の橋本晴重郎様が元気を回復され、私共の願いをお聞き下さって演題のような近況について卓話をして下さいます。大変楽しみであります。

これをもちまして、新年のご挨拶といたします。

3. 来賓ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ

会長 小澤晴美様

新年あけましておめでとうございます。

この席に立ちますと、この頑張ってきた半年、なにか走馬灯の様に感じます。

私はこちらにお伺いする度に皆さんはお若いなと感じます。私は今66歳で、同級生はあらかじめ定年退職で悠々自適な生活をしています。私事ですが66年間いい経験をさせて貰い、積み重ねてきた仕事を、これからは本当の意味で皆さんのために、Dr. 肥沼の言葉にあるように、誰かのためになってこそ自分の人生の価値があるということをしつづつ感じつつ

ある今日この頃です。私のRCのこの年度は「積み重ねよう小さな感動」というスローガンでスタートし半年経ちました。私の年度で31年目となり、30年を一代とすると二代目になるわけで、何をなすべきか原点に戻って見直そうと考え、そこで「積み重ねよう小さな感動」として、意外と見逃しがちな小さな感動を心に捉えられるようにし、それが結果的に大きな感動になり、強いては人のためになるようならば、こんな良いことはないと思っています。

この残りの半年、スローガンを貫き通して次年度につなげられ、会員の一人ひとりに何か芽生えればよいと念じております。先輩方のより一層のご指導を頂きまして、後の半年を頑張りますのでよろしくお願い致します。どうも有難うございました。

4. ハッピーコイン披露

武田副会長からハッピーコイン22件の披露がありました。(6~7ページに記載)

5. バースデーカード贈呈



池田会員の手作りのバースデーカードが岩島会長より、河合、佐々木(秀)、下田、下山、武田、寺田、(米林・大野聖二会員は欠席)の1月生まれ8会員に贈られました。おめでとうございます。

6. 卓話「闇地獄から生還して」

—今年ハッサンの年—

話し手 橋本晴重郎元会員



本日は卓話にお招きいただきましてありがとうございます。新春のおめでたい席で病気の話など縁起でもないとお叱りを受けそうですが、ご心配をおかけした皆様に現状報告とお礼を申し上げたいと思

い出席させていただきました。

現状 私は2010年に杉山さんのご紹介で入会しましたが、2015年脳血栓により視力を失い、やむなく退会しております。

現在の視力は左が0.3・右0.02、視覚障害者手帳6級、要介護3の身です。1メートル内なら顔はわかりますが、新聞は見出しのみで平記事は読めません。日常は大小の電子拡大鏡を使っています。

リハビリのおかげでこうして自分の足で立てられるようになりました。

発症から全盲へ 運転中にセンターラインが2本見えるようになったのが始まりです。これは神経内科で薬剤治療をしました。その後脳血栓症による眼底出血、網膜剥離を起こし脳神経外科で治療したにもかかわらず、次は静脈血栓症(血栓の詰まった静脈が動脈に突っ込み、静脈の血が動脈に逆流する極めてまれな症状)になり、視力障害で左0.02・右0.01とほぼ全盲状態になりました。

緊急で10時間に及ぶカテーテル手術を受けましたが、その際脳に溜まった水を抜くため左耳の鼓膜を切りパイプを設置、右耳は以前からの加齢難聴があったため全く聞こえなくなりました。目と耳に加え手術後から味覚・嗅覚もなくなり、首から上の感覚はほとんど停止、闇の中で死後の世界とはこういうものかと感じました。

闇地獄の日々 入退院の繰り返しで体力が落ち、自力で立つこと歩くこともできず、車椅子、食事・トイレ・入浴とすべて人の手に頼る暮らしです。

自宅に戻ってからも妻に苦勞をかけるばかりです。いっそ自殺をと思いましたが自力で動けない身ではそれもかないません。そんな自殺願望を思いとどまらせてくれた言葉があります。

ひとつは近藤眼科医の「視力は回復します。そのために体力をつけ、見る気力を持ちなさい。半年、一年のスパンでよくなります」。もうひとつは妻の「気持ちはわかるけれど自殺したら生命保険はもらえませんかよ」の一言。

生還 闇の暮らしが4ヶ月続いた9月のある朝、目が覚めるとうっすらと光と影を感じました。隣で眠っている妻の顔がシルエットで見えます。夢かと思いつつ受けた検査結果では、右は変わらずに0.02ですが左は0.1に向上していました。

それからは気持ちが前向きになり、週3日の機能回復型デイサービスに通い、車椅子をやめて杖歩行へと弾みがつきます。22倍の電子拡大鏡を購入して読書も始めました。術後6ヶ月検診では左0.2、1年検診では0.3と視力が回復して現在に至っています。新しい視神経細胞が生まれたわけではなく、体力気力の増強で生き残っていた細胞が活動を始めたもののようです。

終わりに 皆様も脳血栓を防ぐために水分補給と運動(特に足の)に努めてください。病を得た時こそ心ある医師の言葉は重要です。あきらめず前向きな気持ちを保つことも大事です。私の場合は妻の心遣いと友人知人の励ましが大きな力になりました。

以上の私の経験が皆様の参考になれば幸いです。

今年83歳になります。若い時から「ハッサン」と呼ばれてきた私の年と定め、これからの人生を大切に生きていきたいと思えます。

ご静聴ありがとうございました。

7. 幹事報告 飯田幹事

① 橋本晴重郎様の卓話について

想像を絶する病魔に侵され、その苦痛に満ちた闘病生活のご様子卓話、大きな感激と感動を受けました。橋本様は芯がお強いので一日でも、一歩でも回復に向かって頑張ってくださいと思います。

早い時期にPCへの復帰を願っています。

② 小林時雄会員の件

小林様は昨年12月17日ゴルフからの帰宅後の入浴中亡くなられました。「病名は心筋梗塞の疑い」とのことでした。

12月22日通夜、23日葬儀・告別式は会社(カーテン・じゅうたん王国)と小林家の合同葬儀として執り行われ、PCからも多くの方が参列いたしました。PCの会則により会長名で生花をお供えさせて頂きました。

本日の新年会へもご参加の予定でありましたが、残念ながらご参加できませんでした。一昨日会費のご返金にご自宅に伺いましたところ、会費に合わせて「皆さんの新年会でお使いください」とお礼と新年会のお祝い金を頂きました。

謹んで弔意とお礼を申し上げ、会計に入金しました。

8. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会 宮城委員長

出席者数、出席率については頭書の通りです。

(2) 情報委員会 有泉委員長

プロバス日より 254 号をお配りしました。今回は永井会員が編集を担当されました。

できるだけ多くの方に投稿をお願いします。

(3) 会員委員会 土井(雄)委員長

本日は早速会費の納入にご協力頂きありがとうございます。愈々2月から生涯学習サロンが始まりますが、混乱の無いよう、地域奉仕委員会と連携を取りながら会員委員会メンバーは取り組みます。

小林時雄会員のご逝去により残念ながら1名減となり会員数は67名、うち休会会員が4名です。

(4) 研修委員会 池田委員長

今日の卓話は厳しい闘病生活を克服された橋本さんのお話でした。皆様の参考になりますように。

出前講師の資料をお配りしました。地域で活用していただけるようお手配、ご協力をお願い致します。

(5) 地域奉仕委員会 持田委員長

明けましておめでとうございます。いよいよ生涯学習サロンが2月23日から開講式を迎え大きなイベントとして始まります。開講式には石森市長様のご臨席・ご挨拶を頂けるという連絡を市から頂いております。大変心強くありがたく思っております。又、例年通り八王子南 RC、日野・多摩両 PC からご来賓としてお出で頂けることになっております。

昨年末までに実施したことは、印刷物を一般サロン会員募集のために配送を終えたところ。最近2年間の名簿データをベースに約160名に郵送しました。サロンの一般募集会員の100名の参加枠を早期に埋まるように積極的に募集の輪を広げたいと思います。皆様のご協力をお願いします。お誘いのための資料・印刷物がありますので、必要な場合は是非地域奉仕の委員に申し付けて下さい。又、サロンが始まるにあたり各委員会の皆さまにはご協力をお願いすることが多々あり、受付業務、参加確認、入金処理などは、すでに理事会で各委員長に詳細は連絡してありますので、例年通りの作業になりますが、よろしくお願い致します。

プロバス会員の希望テーマ表の提出が完了していない方は至急地域奉仕委員へ提出するようお願いし

ます。現在35名です。明るく楽しい双方コミュニケーションのとれるサロンにしたいと思っております。皆さまのご協力を宜しく願います。

(6) 八王子「宇宙の学校」 下山リーダー

先月例会で「宇宙の学校」平成28年度が閉校したとだけ報告しましたが要点を追加しておきます。

本部会場(教育センター)、工科大会場、北高会場で会場の制限から募集は微増だけさせて実行いたしました。それぞれの延べ出席者は本部・277組、工科大・329組、北高・125組、合計731組で、出席率は全体で85.4%でした。昨年度の出席率が少し良かったので、結局ほぼ同程度の参加者となりました。

大学生のボランティアを多く募りましたが、プロバスクラブからも多くのご協力をいただきました。

感謝を申し上げて報告に替えます。

(7) 交流担当 浅川理事

12月7日、多摩 PC の忘年会に、日野・八王子両 PC より大勢参加しました。その席で、多摩 PC より、交流をもっと広げたいというお話がありまして、3PC 交流をもっと広げようということになりました。1月19日には、日野 PC の新年会がありますので、多摩 PC ・八王子 PC より大勢参加する予定です。今日の当クラブの新年会には、多摩 PC、日野 PC さんより大勢のお客様がお見えになります。楽しいプロバスの輪を拓げるために、皆様のご協力をよろしく願います。

9. 同好会活動報告

フラダンス 根本(照)会員

現在登録会員は7名ですが常時出席は4名です。会員募集をしていますが、当会の女性は頭打ちになっており、サロンが始まりますので毎回サロンにお出でになる方をお誘いできたらと思っております。すでに根本洋子さんの紹介で一人入って頂きました。ほかに会員の奥様とかにもお誘いをしたいと思っております。それと、男性も今2名入ってくれる気配になっております。1月18日に新年会を会場のびおらでしますが、その時から始められるとのことで、女性も元気が出るかなと思っております。

男性も二人と言わずお腹の贅肉を取るのと、筋肉を鍛えるためにも良いらしいので、ぜひお入りください。よろしく願います。

麻雀同好会

荻島会員

1月19日、今回は新年会を兼ねて行います。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉会

武田副会長



例会ご出席お疲れ様でした。

平成29年、2017年。新たな一年を迎え、例会がスタートしました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

卓話をお話いただいた元会員の橋本晴重郎様が順調な

病状回復を見せておられること、安心いたしました。

ところで、私ごとですが最近、嫌なことがもう一つ増えました。緑内障で自動車免許証を返上してから、バスに乗る機会が多くなりましたが、ご推察の通り、「どうぞ」と席を譲られることが増えたことです。いつになく鏡でまじまじと自分の顔を見ました。若いつもりでしたがシワやシミ、そんな歳に見られてしまう自分を改めて自覚するこの頃です。

日本老年学会の提言で75歳以上は高齢者、65歳から75歳未満は高齢者ではなく准高齢者だそうです。これからの時代は准高齢者に大いに活躍して貰おうというところでしょうか。

また90歳以上は超高齢者すなわちスーパーパーソンです。75歳、後期高齢者になって大事にされると思ったら、高齢者の若葉マークになるようです。

それでは、これで例会を閉会とします。

新年懇親会

平成29年新年懇親会が、前半荻島会員、後半山崎(光)会員の司会によって、明るく始まりました。

岩島会長挨拶

本日二度目のご挨拶となりますが、皆さん明けましておめでとうございます。今日は、御来賓の方が大勢いらっしゃいます。東京多摩PCから倉賀野会長および秋山研修・親睦委員長が、また、東京日野PCからは小島会長、他3名、計4名もの方々がお越しくださいました。両PCとはゴルフ、囲碁、俳句および出前講師(卓話)などで楽しい交流をさせ

て戴いております。これからも益々交流を深め、親睦の輪を広げてゆきたいと思っております。

2時間という短い時間ですが、2017年、平成29年の門出を祝い、お互いに楽しい夢や希望を語り合ひましょう。簡単ですがこれで挨拶を終わります。

乾杯 永井前会長

皆さんおめでとうございます。

皆様の健康とPCの益々の発展を祈念して乾杯。

お客様のご挨拶

東京日野プロバスクラブ

小島会長挨拶

皆様明けましておめでとうございます。今日はお



招きを頂きまして大勢で伺いました。日野PCは毎月第3木曜日が例会で、来週19日に新年会をしますので大勢の皆様のお出でをお待ちしております。私共の会は小人数ですが、八王子PC、多摩PCの

皆様と一層の交流を深めていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。なお、今日お伺いしたのは私と大島、黒沢、小島(康)の4人です。

有難うございました。

東京多摩プロバスクラブ

倉賀野会長挨拶



明けましておめでとうございます。八王子PCさんにはいつもお世話になっております。昨年の暮れには私共の忘年会に大勢来て頂き、また今日は新年会にお招き頂き、研修・親睦委員長の秋山とお

邪魔しました。かねがね八王子PCさんは生涯学習サロンの講師を自前で揃えられるということで我々にとっては羨ましい限りです。先ほど岩島会長からの話でゴルフの交流とか、俳句も定期的にやられているようですが、当クラブにも俳句をひねってる会員が何人かいるので、できれば一緒に吟行会とか。

それと2年ほど前ですか、大道芸の実演をしてもらい非常に好評でした。又先般東日本ブロックの交流会があり、遠方のクラブとの出会いもありましたが、やはり近隣の3クラブでの交流を密にすること

が何よりであると思いますので、今後共よろしくお
願い致します。

ここから司会が山崎（光）会員に交代。早速テン
ポよくビンゴゲームが始まり、山崎（光）会員が数



字を読み上げるごとにみんな一喜一憂、ギャンブル
は人間の本能か。盛り上がった楽しいひと時でした。

このあとカラオケタイムになり、最初に懐かしい
歌（青い山脈・リンゴの歌・憧れのハワイ航路等）
を山形会員の鍵盤ハーモニカの伴奏で、ほぼ全員
がハモット。このあとカラオケが始まり、自称声自
慢が順番に登壇、美声を響かせた。続いて全女性
による大コーラス。「ここに幸あり」で大拍手。



時間も残り少なくなり、恒例となった締めは宮城
例会委員長の出番となった。

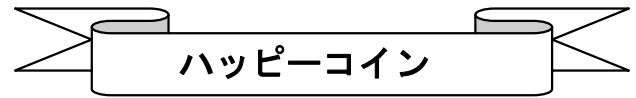
宮城です。皆さんお立ちください。女性と男性交
互に手をつないで大きな輪を作りましょう。さあ元
気に廻りながら歌いましょう。



夕やけこやけの大合唱が響き宴は大団円。

閉会挨拶 武田副会長

皆さんお疲れさまです。お名残り惜しいですが締
めたいと思います。三本締めでいきましょう。では
八王子、日野、多摩三クラブと皆さんの益々のご発
展とご健康を祈念して“三本締め”“お開き”



- ◆皆様との再会に感謝して。(特別高額コインを戴き
ました) 橋本晴重郎元会員
- ◆明けましておめでとうございます。今年も「宇宙
の学校」をよろしく。 下山 邦夫
- ◆毎日元気で生活できることが最高のしあわせです。
土井 俊玄
- ◆あらたまの時を告げる鶏さんと共に合唱 佳き
日々を 古川 純香
- ◆今年も皆様にとりまして輝かしい年であります様
お祈りいたします。健康に十分気をつけてプロバス
ライフを楽しみましょう。 立川富美代
- ◆祝箱根駅伝三連覇 母校青山学院大、恒例の箱根
駅伝、三連覇を遂げる。大学三駅伝年度三冠獲得。
宮崎 浩平
- ◆あけましておめでとうございます。本年もどうぞ
よろしく願いいたします。 武田洋一郎
- ◆今年も平凡な正月を過ごすことができました。
感謝。 永井 昌平
- ◆今年も楽しいプロバスの輪をみんなで広げていき
ましょう。 浅川 文夫
- ◆2017年、波乱ぶくみの世界がどうか平安でありま
す様に !! 杉山 友一
- ◆明けましておめでとうございます。八王子プロバ
スのますますの発展を祈念いたします。今年もよろ
しく願いします。 佐々木 正
- ◆新年あけましておめでとうございます。年を重ね
ることで出来る事があると思う。無理をせず出来る
ことをできるだけ!! プロバスライフを楽しみます。
本年もよろしくお願い申し上げます。 宮城 安子
- ◆宮崎さん、青山学院大三連覇おめでとうございます。
わが家も気にしていた上の男孫が内定の通知
があり、良い春になりました。 有泉 裕子
- ◆あけましておめでとうございます。会員の皆さま
には平成29年の初春は健やかに迎えられたことを

心からお喜び申し上げます。 荻島 靖久

◆昨年の八王子市でハッピーなことは、八王子高校甲子園初出場。八王子まつりで2,130人の民謡流しがギネスブックに認定される。世界新である。リオオリンピックで八王子出身の中村美里選手が銅メダルを獲得する大活躍が印象的である。

荻島 靖久

◆宮崎さん、箱根駅伝3連覇。田中さん実業団駅伝それぞれおめでとうございます。私達シニアダンディーズは昨年暮れ「檜の里」老人施設で歌い、「アンコール」の声をいただきました。 岩島 寛

◆新しい年が穏やかな年でありますように!!

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

我が家では双子の孫が生まれ、少子化に貢献しました。ハッピー!! 飯田富美子

◆元旦のニューイヤー駅伝で旭化成が優勝しました。18年振りだそうで、古豪復活に大喜びです。

今年は春から縁起が良い。 田中 信昭

◆来週今年の旅始めて「ソウル」へ行って来ます。

野口 浩平

◆あけましておめでとございます。

今年も宜しくお願ひ致します。1月9日に6度目の干支を迎えました。昨年はケガや手術等色々ありましたが、何とか元気で7度目の干支を迎えられるように頑張りたい。 寺田 昌章

◆私は傘寿の大台に何とか到達。妻は喜寿を迎えて意気軒昂。そこで一句

喜寿傘寿揃ふて迎ふ年の朝 河合 和郎

◆①昨日4人目の孫が元気に生まれました。私と同じ酉年で6廻り違いです。春から縁起がいいぞー!

②そしていよいよ生涯学習サロンが2月から始まります。皆さんの御協力を得てとびはねるぞー!

持田 律三

追悼のこぼ 故小林時雄会員を偲び

岡田 尚

小林さん、何でそんなにいそぐんだよ。20数年前になるかな、知り合ったのは。彼は本当に面倒見のいい人で、随分色々な事でお世話になりました。小林装飾からカーテン・じゅうたん王国を起業しあつという間に関東地区に10店舗程造ってしまった。事業が軌道に乗って来たころ、俺はこの仕事を息子に

任せのんびりゴルフでもして遊ぶよと話されたので、まだ息子さんは若いし、貴方も若すぎるよといったことがある。その時彼は延々と彼の持論を話し始めた。私の意見とはいささか離れすぎていたが、真剣な話し方に彼の哲学のようなものを感じた。現在彼の言った通り息子さんが順調に経営されている。

私の心配は当たらなかつた。いくらか時間の余裕もありそうなので、プロバス会員に推薦した次第である。

朝から好きなゴルフを楽しんで、帰って自宅でゆっくり風呂に入って、そのまま天国に逝ってしまった。あまりにも急な事変に家族や会社の人々を驚かせ、まごつかせた。私より若いし、元気だったのに何でだと思ふ反面、うまくやりやがったな、俺もあやかりたいなと考える今日この頃である。

杉山 友一

今は亡き小林時雄さん、あなたは、小林流の独特な中小企業論を展開し、装飾業界を広域的に纏められて斯界を成功に導いた実業家でした。敬意を表していた所以です。そして続くあなたの後半の人生は、まさにゴルフ一色でしたね。それが何とも、元気を一転させた突然の訃報によって断ち切られました。

伺った告別式では、祭壇の前に飾られた乳白色プロ仕様の大判のゴルフバック一式が胸を打ちました。祭壇を照らす柔らかな光の中で、アイアンのクラブたちが輝きを放って小林時雄ここにありと主張していました。思えば、あなたとはゴルフを語ることを通じて人生のシンパシーを感じ合っていた気がしています。

きっと西方浄土にもゴルフ場はあるでしょう。そちらでのご健闘を祈っています。 合掌

大高 秀夫

小林さんとの出会いは、今から45年前、私がマイホームを建てた時に、カーテンをどうしようと考えたら、息子の保育園のお友達のお父さんが内装関係のお店をしていたのだと気付いて、カーテンのオーダーに伺ったのが始まりでした。それからはなんとなく“馬が合う”といえますか、店の前を通るときは何となく足が向いてしまい、時々寄りこんではおしゃべりをしたり、私の仕事であったトヨタの車を買って頂いたりとの長いお付き合いをさせて頂きました。おしゃべりといっても小林さんは若い頃から

私の一句～1月の句会から

河合 和郎

今年も句集をまとめる計画が進む。ささやかな足跡も第4句集となる。今年も充実した初句会が賑やかに持たれた。さて、今月の一句は。

柚子二つ浮かべ一人の湯船かな 渋谷 文雄

柚子湯は古くからの懐かしい習慣。作者も柚子を二つ浮かべて入浴。「一人の湯」に孤独感が。

孤鷹舞ふ綾肌映ゆる高尾山 山形 忠顯

高尾山の冬空を悠然と舞う一羽の鷹。安らかな清新の気に満ちた小比企からの光景と作者。

温暖化いのち永らふ冬の蝶 東山 榮

冬の寒さの中で辛うじて生き残る冬の蝶。しかし、温暖化が原因だとしたら……と作者は危惧する。

橋杭岩浦にかがやく初茜 矢島 一雄

橋杭岩の並ぶ浦に初日が昇る。それを写真的感覚で捉えた一句。写真的センスが生きている。

ひたむきに重ねし紅や寒椿 池田ときえ

紅の色濃い寒椿の花の咲く様を詠んで美しい。上五の措辞がいい。絵心からの観察が昇華した。

法螺の音や初風に乗り山明ける 田中 信昭

高尾山の初参りの景か。厳しい寒さの中、信仰の山の年明けの雰囲気うまく詠めた。初風がいい。

降る雪に化粧直しや甲斐の山 飯田富美子

女性ならではの感性が光る一句。雪を頂いた故郷の山々はより気高く新鮮に見えたことであろう。

タンカーの光る航跡初日の出 立川富美代

神戸港の初日の出の光景とか。国際港の新年の希望に満ちた活動がここから始まる。私も心新たに。

正月駅伝外人抜き偉業かな 馬場 征彦

青学の三連覇の偉業。「外人枠」を使わない勝利に感動。大相撲も日本人横綱が19年ぶりに誕生した。

追羽根や姉妹の声の弾む庭 河合 和郎

最近正月の遊びがすっかり姿を消してしまった。記憶の中の若き母親の姿を追羽根に重ねた。

大変な努力をされて一代で全国ネットの(株)カーテン・じゅうたん王国を築きあげた方ですから商売の事、人生のこと等、貴重なお話を沢山聞かせて頂き、いろいろなことを教えて頂きました。

従いまして私にとっては人生の師と仰ぎ尊敬すべき大切な方でしたので、突然の訃報に驚愕し、未だに信じたくないというのが現在の心境です。

ここに生前に頂きましたご厚情に感謝御礼申し上げます、心よりご冥福をご祈念させていただきます。

小林さんありがとうございました。

小林 貞男

時雄さんの訃報の連絡を受けた瞬間、まったく信じられなかった。11月の例会で厳寒期ではあるがコースに出ようと約束したばかりであった。ゴルフは、常に私の師匠でアドバイスを受けていた。最近プロバスコンペに参加する以外は、ほとんど同伴することがなかった。(私の体力低下で満足出来るスコアがだせない)しかしコースに出ないと益々体力が低下し、さらにスコアが落ちるので体力維持のためにもコースに出て調整し、楽しいゴルフを取り戻そうと約束し、本格的に練習場に通り始めた時であった。

いつも明るい元気な時雄さんが、どうして先に逝ってしまったのか今でも信じられません。

時雄さん安らかに眠りください。

矢島 一雄

小林時雄さんの突然の訃報に接して、これほど人の世の無常を強く感じたことはない。小林さんとの出会いは、今思い出しても強烈な印象だった。プロバス入会時に、ゴルフの上手な人と聞いてはいたが、同好会のコンペでは何時も70台のスコアで回って優勝やベスグロを獲得して、メンバーを驚かしていた小林さん。クラブの懇親の席でも、酒は一滴も飲まずに熱心にゴルフ談義を語ってくれた小林さんでした。今思えば、小林さんとの最後のゴルフとなったのは、昨年10月の八王子、多摩、日野プロバスクラブ合同の交流コンペでした。私と小林貞夫さんが当番幹事で準備に忙しい姿を見かねたか、時雄さんが「手伝うよ」と言って、会費の徴収を引き受けてくれたのを今も思い出します。今頃はきっと大好きなゴルフ場の晴れ渡った空を、千の風になって吹き渡っていることだろう。

心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記：2017年最初号の編集で新年の挨拶、追悼文等記事が多く、折角撮って頂いた写真があまり掲載できませんでした。

2月9日

情報委員会・東山 榮